



上鷺宮

「自然といのちを守る学校」

<http://nk-kamisagi-e.a.la9.jp/>

開校39年
No.437
平成29年度

学校だより 2月号

中野区立上鷺宮小学校
校長 堀 聡明
TEL 3926-6381

学習指導要領の改訂

副校長 早乙女 通英

これまで学習指導要領は、時代の変化や子供たちの現状、社会の養成等を踏まえ、およそ10年ごとに、改訂されてきました。平成32年度から新しい学習指導要領が実施され、平成30年度から2年間、各教科において円滑に移行ができるように、内容を一部変える等の措置をします。

平成32年度の完全実施に向け、教職員一同全力で取り組んでまいります。

学習指導要領の改訂の視点

<新しい時代に必要となる資質・能力の育成>

「何を理解しているのか、何ができるのか」

…生きて働く**知識・技能**の習得

「理解していること・できることをどう使うか」

…未知の状況にも対応できる**思考力・判断力・**

表現力等の育成

「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」

…学びを人生や社会に生かそうとする

学びに向かう力・人間性等の涵養

それに伴い、現行の学習評価の4観点（関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解）が、3観点到整理されます。

- ①「知識及び技能」
- ②「思考力・判断力・表現力等」
- ③「学びに向かう力・人間性等」

具体的に変更となる点

◆従来の「道徳の時間」が「特別な教科 道徳」（道徳科）として位置づけされます。

・検定教科書の導入

・いじめの問題への対応の充実や発達の段階をより一層踏まえた、体系的な内容に改善

・問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れる等、指導方法の工夫

・評価は、児童の道徳性に係る成長の様子を、認め励ます評価（記述式）

・平成30年度より実施

◆中学年で「外国語活動」を、高学年で「外国語科」を導入します。

・音声で十分慣れ親しむことは従来通り

・中学年で「外国語活動」を導入し、目標として「聞くこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」の3領域を設定

（平成30年度…年間20時間）

・高学年の目標として「読むこと」「書くこと」を加えた教科として「外国語科」を導入し、5つの領域を設定。

（平成30年度…年間50時間）

◆教科により移行措置の内容がちがいます。

・「総合的な学習の時間」「特別活動」

…平成30年度から新学習指導要領で実施

・「国語」「社会」「算数」「理科」

…指導内容や指導する学年の変更などにより特例を定めて実施

・上記以外の教科

…現行の学習指導要領で実施

2月の生活目標
安全に気をつけよう